

教会

知っておきたいキリスト教のことば (54)

わたしたちは普通に、「今度の日曜日、教会に行きます」という会話をします。その言い方には、何も違和感がありません。このように「教会」というと、ほとんどの人は、「建物」としての教会を思い浮かべるでしょう。

しかし、「教会」をあらわすエクレーシアというギリシア語には、「呼び集められた」という意味があります。この「エクレーシア」は、旧約聖書の中では神の民であるイスラエルの人々の集会をあらわしていました。それが新約聖書では、「神さまが諸国民の中から選



び出し、召し集められた群れ」という意味になっていきます。いずれにせよ、そこには「建物」という意味合いはあまり強くなかったようです。

新約聖書の使徒言行録には、教会共同体が始まっていく様子が描かれています。そこには「教会」という建物に人が集まって来たのではなく、神さまから召し集められた群れの共同体が、教会を形作って行った様子が記されています。

また聖霊降臨の場面でも、弟子たちに聖霊が与えられ、そこから教会が始まったと書かれています。立派な聖堂が出来たことが教会の始まりではないのです。

さらにパウロは手紙の中で、教会とはキリストの体のことであり、そしてキリスト者一人ひとりそれぞれの賜物に応じて使命を与えられ、体の肢体として教会をつくり上げると書きました。わたしたちは洗礼によって、キリストの体に組み入れられます。そして信仰共同体として、共に教会をつくり上げていくのです。

「二人または三人がわたしの名によって集まるところには、わたしもその中にいるのである」とイエス様は言われました。そこが教会なのです。

次回は「教会暦」です。お楽しみに。